

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会 ☎075 - 432 - 3261

2023年11月②号

北区わくわくフェスタ in 船岡山

11月5日、「こんな京都にしたいな@北区」の企画で市長選挙に向けての「わくわくフェスタ」を開催。模擬店やシャボン玉遊び、舞台では歌や要望の訴えなどあり、市長選挙に立候補表明されている弁護士の福山和人さん（無所属市民派）も参加しました。とても楽しいおまつりとなりました。

いろいろな分野で活動されている皆さんが、要求プラカードなどを持って、福山さんに要望を伝え、福山和人さんが、丁寧に応えました。

環境破壊と無駄使いの北陸新幹線延伸計画については、「いくら、市の負担金がかかるかわからない。値札の付いてないお寿司みたいなものに庶民はたべられません。」「残土を処分場所が決まっていない。こんなものに手を出すものではない。きっぱりお断りする」と話されました。



無謀な北陸新幹線延伸計画について訴える北陸新幹線の京都延伸を考える北地区の方

井坂博文前市議と玉本市議で（漫才風）トーク形式で、市政報告をしました。

市長が毎年500億円の赤字で財政破綻すると言ってましたが、実は2年連続の黒字であること。民間ができることは民間にと、公的な役割を放棄し福祉を後退させてきたことを報告。市長を変えて、福祉を取り戻しましょうと話しました。



中学校給食 巨大センター1カ所でもいいのか！！

京都市教育委員会は、中学生の給食26,000食をたった一カ所の巨大給食センターを塔南高校グラウンドの跡地に建設し、トラックで全中学校に運ぶという方式を発表しました。

心配されるのは、食中毒が発生した場合、被害が大きくなること。しかも調理から2時間以内に食べる必要があるのに、南区のセンターから左京区の北部の中学校に運べるのか。大事にしたい食育指導は、センター方式では栄養教諭の配置も少なく、小学校のような給食ではなく、給食工場から運ばれてきた者を食べるということになってしまうのは残念



です。センター方式が一番費用が安くなるということで決めていいのか。小学校のような学校調理方式がどうしたら実現できるかもっと検討すべきです。

つぶやき：私道の穴ぼこを埋めました。

私道への改修は京都市の補助制度はありますが、利用するには、私道の持ち主が何人もおられると、合意を取るのが大変だったり、補助制度があるとは言え、本格的な舗装工事になると自己負担もそれなりにかかります。



踏み固める玉本市議

そこで、土木みどり事務所に相談して、「ネオアスファルト」という簡易に修復する資材を無料で分けてもらい、作業しました。写真の凹みには6袋必要でしたが、なんとか平らになりました。

アンテナ 若者支援・子育て支援を！

写真の0歳の赤ちゃんを抱いて子育て真っ最中の女性。学生の時に、私学の大学で、下宿をされていたので、月10万円利子ありの奨学金を借りていたとのこと。学生の時は助かっていたので、感じなかったけど、働きだし、子育てもするようになり、返済のしんどさを実感しているとのこと。4年間の奨学金と入学資金も借りたので、520万円の利子が付き約550万円、20年間、毎月2万6千円返済しないといけないとのこと。

なんだか、胸が締め付けられます。社会に出た途端に多額の借金に迫られる生活はほんとに厳しいと思います。福山和人さんは、僕が市長になれば、奨学金の返済支援を実施したい」と話されました。みんなが希望の持てる社会にしたいとは思いません



左端は要望をじっくり聞かれる福山和人さん

左端は要望をじっくり聞かれる福山和人さん